

未来につながる持続可能な農業推進コンクール審査項目

(1) GAP部門

審査項目	審査基準
生産工程管理の改善に向けた取組	食品安全、環境保全、労働安全、人権保護及び農場経営管理の項目についてGAPを実施し、これらの項目の中で特筆すべき取組を行っている。
GAPの継続に向けた取組	GAPの継続にあたり、取組に要する負担を軽減し、継続を容易なものとするための工夫を行っている。
生産効率性の向上に向けた取組とその効果	GAPを通じて、作業の効率化や資材・労働時間の削減が図られている。
経営の改善に向けた取組とその効果	GAPを通じて、取引の拡大、コスト削減、従業員の意識向上などの経営改善が図られている。
地域の内外への波及に向けた取組	消費者や流通関係者等への啓発、関係者との交流を通じて、地域の内外にネットワークを構築するなどの取組を行っている。

※ 人材育成の部については、以下の項目についても審査を行う

審査項目	審査基準
教育機関における人材育成活動	独創的なGAP教育カリキュラムの策定、GAP教育の充実等により、次代の農業者やGAP指導者などの人材育成のための工夫した取組を行っている。
教育機関における地域の牽引役としての貢献	地域の農業者等を対象としたGAPに関する教育・研修の実施やGAP認証審査の公開等、GAPの普及に関して地域を牽引する役割を果たしている。

(2) 有機農業・環境保全型農業部門

審査項目	審査基準
土づくりのための取組	土壌診断に基づく肥培管理・土壌管理（資材の選択・投入や耕起・耕耘、水管理を含む。）、地域資源を活用した土づくり、土壌の浸食・流亡対策などの取組を行っている。
地球温暖化抑止や生物多様性保全などの取組	土壌中への炭素貯留やメタン・NO _x 等の発生抑制、農地や周辺環境への影響が少ない栽培管理手法や防除方法の選択・実施の取組、水棲生物や土壌生物の生息状況の維持・改善等につながる取組を行っている。
生産工程の見える化等の取組	生産履歴の記帳や公開など、生産工程の管理や見える化のための取組を行っている。
面積拡大に向けた取組	有機農業や環境保全型農業について、面積の拡大に向けた取組を行っている。
効率的な生産に向けた取組	有機農業や環境保全型農業の取組の拡大に向けて、地域内外の関係者と連携し、機械の共同利用、技術の開発・導入など、効率的な生産の取組を行っている。
地域内外で連携した安定出荷の取組	有機農業及び環境保全型農業により生産された農産物の出荷について、安定したロットの確保、流通コストの低減に向けて、地域内外の生産者間で連携した出荷や共同利用施設を活用した貯蔵等の取組を行っている。
販路の確保に向けた取組	有機農業及び環境保全型農業により生産された農産物について、加工品の開発や輸出も含めた新たな販路の確保の取組を行っている。
地域内外への波及に向けた取組	消費者や流通関係者等への啓発、関係者との交流を通じて、地域の内外にネットワークを構築するなどの取組を行っている。

※ 人材育成の部については、以下の項目についても審査を行う

審査項目	審査基準
地域のリーダーとしての活動	地域の見本となる営農活動の継続的な取組、地域の生産者に対する技術面や経営面の助言、新規参入者等への研修の実施、地域におけるマニュアルの作成等、他産地との交流促進など周辺の農業者が取り組みやすくなるような環境整備を行っている。
人材育成活動	新規就農希望者の就農相談、教育機関における有機農業や環境保全型農業のカリキュラムの導入や次代の指導者育成など、人材育成のための取組を行っている。